



仕事人に会う

Vol.43

ユーザーコーポレーション
健康住宅アドバイザー 田中 廣 さん

HIROSHI TANAKA

PROFILE

平成元年より省エネ健康住宅の普及促進を開始、平成8年に「ユーザーコーポレーション」を立ち上げ、平成20年の鳥取県環境フォーラムでは「健康住宅の優位性」について講演、「県民住環境向上」を掲げ、「医・食・住」トータルでの健康普及活動を行っている。

さまざまな仕事人に密着して、その職業の奥深さや面白みを探る。仕事人に会う。今回は、あったかい家をキーワードに健康住宅の普及活動を行う「ユーザーコーポレーション」の健康住宅アドバイザー、田中廣さんに密着しました。



6月20日は健康住宅の日です <日本健康住宅協会>

特別
企画

「語り部の住まいが〜」から教わる「学習ツアーIN健康住宅」実体験・実生活を体感(24時間循環器システムなど)

民泊ユーザー宅宿泊情報交流。本音が聞けます。(1泊2食付,6,000円〜) ☎080-6337-0046 (お客様の希望に合わせて) 担当:前田 栄 (建築士)

- ・「県民住環境向上」のため「医育・食育・住育」で「健康住宅」の啓蒙普及を目指します。
- ・「住まいのお医者さん」健康住宅アドバイザー資格を健康住宅基礎知識習得のために普及します。
- ・「ナイチンガールの看護覚え書」にある、看護、介護における住環境の必要性を認識してもらいます。

「気づき学習」受講生随時募集中! (サロネーゼ育成講座)

※身近な問題から健やかな住まい方に気付いていただきます。

- **ペットが知らせるあなたの危険! 講座**
 - ・コンパニオンアニマルのQOL (CS犬、生活習慣病)
 - ・ケミレス必要度テスト (自らの程度化学物質に注意が必要か?)
 - ・Q.E.E.S.I (シックハウス症候群や化学物質過敏症の自己診断)
- **室内空気汚染。結露カビ対策講座 台所革命…「換気が第一」**
 - ・子どもの健康、ヒートショック、熱中症に関心のある方へ
 - ・PM2.5、花粉、黄砂、ハウスダスト、防カビ対策
 - ・防災グッズ、高齢者のコンロ火災・着衣着火防止
- **健康家族のつくり方講座 (家族の気を活かす住まい方)**
 - ・質素論・コミュニケーションカUP「わ (話・輪) づくり」
 - ・人間関係のストレス解消
- **予防医専・新住医学講座**
 - ・あなたが創る健康住宅 (本設計申し込み)
 - ・気づき学習からのプラン設計教室
 - ・「医師が薦める本物の健康住宅」〜住まいネット(著)〜より



健やか住まい方無料談話室

～簡単な予防で防げる現代住宅病～

◆平日 午前10時～午後5時まで
(土日祝日を除く)

健康住宅アドバイザー 山陰地区
TEL090-1336-9482 担当:鈴木 貴
<本部> 日本健康住宅協会 TEL06-6390-8561
大阪府大阪市淀川区西中島5-7-19 第7新大塚ビル601

KJK NPO法人

日本健康住宅協会 山陰支部

山陰支部長(健康住宅アドバイザー) 田中 廣

TEL090-1010-8419

鳥取市青葉町2丁目204-3-701
ユーザーコーポレーション

無料
相談

○仕事内容について

健康住宅アドバイザーとして、相談会などで住宅に関する悩みごとや相談のついでに田中さん。現代の住宅に多い結露やカビ、化学物質やアレルギーなどの問題を防ぐための学習会を開き、住宅内での事故の予防方法などを対個人、工務店に関わらず広く提案しています。

○やりがい

田中さんは鳥取を健康住宅普及促進県にすべく、住環境についての啓発活動を行っています。例えば、これから家を建てる人に10年前に建てた人を紹介し、行つて実生活を体験させてもらう「体験学習」。なぜその家にはカビが生えにくいのか、もしくは結露が出にくいのかなどを直接家主に聞いたり、生活して初めて自分の住宅問題を悩ませてもらうたりすることで、自分以外の住宅を参考にしてもらっています。参加者から「勉強になった」「ありがとう」と言われることに大きなやりがいを感じています。

○仕事をすると大切にしていくこと

本当に良い住環境というのは、何年たつても住みやすく快適な環境のこと。多くの方は、まず家の広さや間取りが目がいってしまいます。食のアレルギーには敏感なのに、家のアレルギーや住環境については深く考えない人が多いのが現状です。「自分と一番合った素材や空調、その他さまざまな環境要因についてしっかり考え、将来の生活を想像することが何より大切なことです」と話します。家が人に与える影響を正しく知れば、何年たつても快適な環境で暮らし続けるとことが可能になると「気付いてもらいたい」という思いで活動しています。

○今後の目標

家の問題の多くは解決できる、防げるということを一貫して知らせたいと語ります。納得のいく住環境を自分で選びとれるような知識を浸透させるためには、難しい用語で説明するより、誰かが実際に暮らしている家を見に行くことが一番かかります。考え田中さん、これからも建てたい人、建てた人との関係の橋渡しをしていきたいと話してくれました。

住む人・建てる人・建てた人の相談役「住まいのお医者さん」



防災・災害時の調理を考える会
小林 輝幸さん

知り合って15年間、健康住宅の普及活動を続けられる姿を見てきました。家だけでなく、健康に生活することに対しての情熱がすごい方です。これからもいろいろ教えていただきたいですね。



一般建築士
前田 栄さん

工務店さんとお客さんの間に立ち、お互いのマッチングをしてくれる、頼りになる存在です。お客さんとの対話を大切にすることで、時々盛り上がりすぎて話が脱線することもありますが(笑)、要望・問題などをしっかり聞き出す技量にはいつも感心しています。



相談者
西川 厚子さん

自宅は既に建てていましたが、田中さんからお話を聞いて、今の自分の生活に即した、快適な家づくりがあるのだと学びました。今後も家のことは田中さんに相談したいと思っています。

田中さんについてこっそり聞いてみました



実際に住み手になる人を訪ね、これから建てる人のアドバイザーをもらっています